

「子育てし大県“さが”プロジェクト」応援

「子育て環境充実のトップランナー“さが”」を目指して

子育て支援に関する提言



資料編

令和 7 年 4 月 25 日

佐賀経済同友会・佐賀県経営者協会・日本労働組合総連合会佐賀県連合会

資料1. 企業の子育て支援策に関する調査結果

回答数 佐賀県経営者協会・佐賀経済同友会会員 101 社(名)

1. 育児休業制度 ～子の対象年齢は1歳までが57.4%～

法律では、従業員は子の年齢が1歳まで原則2回、育児休業をとることができるとしています。

1) 子の年齢

- ①(法律どおり)1歳まで取得できる 58 社 57.4%
- ②1歳6か月まで取得できる 14 社 13.9%
- ③2歳まで取得できる 16 社 15.8%
- ④3歳まで取得できる 7 社 6.9%
- ⑤小学校就学前まで取得できる 0 名 0.0%
- ⑥その他 6 社 5.9%
 - ・満2歳到達後の4月末まで ・子が満1歳になった後の4月末日
 - ・4歳に達するまで延長可 ・1歳2か月
 - ・子が1歳6か月に達した年度末又は2歳に達するまでのどちらか長い期間

2) 取得回数

- ①(法律どおり)原則2回取得できる 76 社 75.2%
- ②3回以上取得できる 6 社 5.9%

2. 産後パパ育休制度(出生時育児休業制度) ～期間は4週間までが88.1%～

法律では、出生後8週間以内の子を養育する産後休業をしていない従業員が申し出た場合には、子の出生後8週間以内に4週間まで出生時育児休業をすることができ、分割取得は2回までとしています。

- 1)(法律どおり)4週間まで取得できる 89 社 88.1%
- 2)4週間より長く取得できる 5 社 5.0%
- 3)(法律どおり)分割は2回まで 71 社 70.3%
- 4)3回以上分割可能 4 社 4.0%

3. 子の看護休暇制度 ～子の対象年齢は小学校就学前までが79.2%～

法律では、小学校就学前までの子を養育する従業員は、1年度において5日まで(当該子が1人の場合)、子の看護休暇を取得することができます(子の看護休暇は、1日単位または時間単位で取得可能)。今年4月から小学校3年生修了までの子を養育する従業員に拡大されます。

1) 子の対象年齢

- ①(法律どおり)小学校就学前まで 80 社 79.2%
- ②小学校3年生まで 12 社 11.9%
- ③その他(小学校6年生まで等)6 社 5.9% ・中学校就学の始期に達するまで

2) 子の看護休暇の日数(当該子が1人の場合)

- ①(法律どおり)1年度に5日まで 87 社 86.1%
- ②6日以上 4 社 4.0%

3) その他

- ①いわゆる「中抜け」(就業時間の途中から時間単位の休暇を取得し再び戻ること)を認めている 32 社 31.7%

- ②1時間単位でも取得できる 48 社 47.5%
- ③30 分単位でも取得できる 3社 3.0%
- 4. 時間外労働の制限 ～法律どおり時間外労働を制限しているが 99.0%～
 法律では、小学校就学前までの子を養育する従業員が請求した場合、事業主は、1か月 24 時間、1年 150 時間を超える時間外労働をさせてはならないと定めています。
 - 1) (法律どおり) 時間外労働を制限している 100 社 99.0%
 - 2) 法律の制限時間を超えて制限している 1 社 1.0%
- 5. 育児短時間勤務制度 ～6時間に短縮が 67.3%～
 法律では、事業主は、3歳未満の子を養育する労働者(日々雇用、1日の所定労働時間が6時間以内の者を除く)について、本人が希望すれば利用できる短時間勤務制度(1 日の所定労働時間を原則として6時間とする措置)を設けることを定めています。
 - 1) (法律どおり) 6時間に短縮 68 社 67.3%
 - 2) 6時間のほか、5時間や7時間など柔軟に短縮できる 33 社 32.7%
- 6. 柔軟な働き方を実現するための措置 ～令和7年 10 月実施が 74.3%～
 今年 10 月から事業主は3歳から小学校就学前の子を養育する労働者に関して、以下5 つの中から2つ以上の措置を講じ、うち1つを利用することができるよう義務化されます。
 - 1) (法律どおり) 令和7年 10 月から講ずる予定 75 社 74.3%
 - 2) 既に取り組んでいる 29 社 28.7%
 - 選択して講ずべき措置
 - ①始業時刻等の変更 18 社 62.1% ②テレワーク等(10 日以上/月) 8社 27.6%
 - ③保育施設の設置運営等 3社 10.3%
 - ④就業しつつ子を養育することを容易にするための休暇(養育両立支援休暇)の付与 (10 日以上/年) 2社 6.9%
 - ⑤短時間勤務制度 28 社 96.6%
- 7. その他 ～結婚祝金を設けているが 79.2%、最高は 80 万円～
 - 1) 子育て世代の社員に柔軟な働き方を認める(フレックスタイムなど) 20 社 19.8%
 - 2) テレワークを認めている 24 社 23.8%
 - 3) 孫の看護休暇を認めている 3社 3.0%
 - 4) 結婚祝金 80 社 79.2% ～平均額は 4.8 万円 最高は 80 万円～
 80 万円 1社 1.3% 10 万円 6社 7.6% 6万円 1社 1.3% 5万円 22 社 27.8%
 4万円 1社 1.3% 3万円 28 社 35.4% 2万円 13 社 16.5% 1万円 7社 8.9%
 - 5) 出産祝金 76 社 75.2% ～平均額は 1.7 万円 最高は 10 万円～
 10 万円 3社 4.1% 5万円 1社 1.4% 4万円 1社 1.4% 3万円 4社 5.4%
 2万円 13 社 17.6% 1万5千円 1社 1.4% 1万円 46 社 62.2%
 5千円 3社 4.1% 3千円・2千円 各1社 1.4%
 - 6) 入学祝金 21 社 20.8% ～平均額は 1.5 万円 最高は 10 万円～
 10 万円 1社 5.6% 3万円 1社 5.6% 2万円 1社 5.6%
 1万円 10 社 55.6% 5千円 4社 22.2% 3千円 1社 5.6%
 - 7) 卒業祝金 4社 4.0% ～平均額は 1.3 万円 最高は2万円～
 2万円 1社 25.0% 1万円 3社 75.0%
 - 8) 子の給食費補助 0名 0.0%
 - 9) 学費等対象の貸付 4社 4.0%
 - 10) 奨学金返済支援制度 4社 4.0%

- 11) ベビーシッター利用料の負担 4社 4.0%
- 12) 事業所内外に保育所や育児室の設置 3社 3.0%
- 13) 企業としてベビーシッターを雇用 0名 0.0%
- 14) 男性社員の育児休業等の取得を推奨している 51社 50.5%
- 15) 育児休業等の社員の仕事をサポートする社員へ手当を支給 1社 1.0%
- 16) その他 9社 8.9%
- ・会社の福利厚生にて育児施設利用料をポイント制にて補助できる ・テレワークできる事業でない ・20歳の祝い金 ・入学祝い金は小学校のみ
 - ・独自の制度を導入している ①Co 育て出産時休暇(有給) 本人または配偶者が生後6か月未満の子を養育する従業員に1か月の休暇を与える(強制) ②Co 育て休暇(有給) 本人または配偶者が妊娠中及び2歳未満の子を養育する従業員に5日の休暇を与える
 - ・3歳までの保育料の一部補助制度あり ・復職祝い金3万円
 - ・県内3カ所の保育施設と利用契約締結
 - ・有給休暇積立制度にて積み立てた有給休暇を育児に利用可能

資料2. 子育て世代の労働者のアンケート結果

回答 連合佐賀加盟労働組合の組合員 474名

市・町	男性	女性	その他	未回答	総計
佐賀市	115	106		4	225
唐津市	36	3			39
鳥栖市	11	7		1	19
多久市	7				7
伊万里市	26	11			37
武雄市	24	2			26
鹿島市	5	1	1		7
小城市	11	8	1		20
嬉野市	3	2			5
神埼市	15	1			16
吉野ヶ里町	16	4			20
基山町	3	2			5
上峰町	6	2			8
みやき町	10	5			15
玄海町	3		1		4
有田町	2	2			4
大町町	2	2			4
江北町	3	3			6
白石町	4	3			7
総計	302	164	3	5	474

1. 県への要望(自由意見)

1) 保育料・授業料・制服等関係

- ・第1子からの保育料無償化(他に1名)
- ・3才までの保育料無償化
- ・保育料が高過ぎて厳しい
- ・保育料と給食費の補助
- ・保育料を安くしてほしい。稼ぐために働いているのに、働くために保育園に預け、保育料を取られる。矛盾している変な仕組みだなあと感じています
- ・保育料の補助を手厚くしてほしい
- ・3号認定への保育料助成
- ・共働き世帯で子どもが熱等や保育園自体の休園で休んだ時は保育料の返還等してほしい。実際に保育園へ預けた日数で保育料計算をしてほしい
- ・子供の教育に関わる費用(小学校等で必要なもの ※習字道具、えのぐセットなど)をすべて無償化してほしい。
- ・学制服無償化
- ・中学生の制服支給
- ・私学を含めた高校学費無償化・所得制限撤廃(他に3名)
- ・バス(電車等)の定期券の補助(高校生)
- ・高校、大学など就学にかかる費用免除
- ・高校まで義務教育時期と同様の補助、大学助成金
- ・大学の授業料の無償化(他に2名)
- ・通学費の補助などがあれば、距離を考えずに学校を選択できるかと思います
- ・大学の奨学金の返済肩代り(佐賀県内に就職することを条件)
- ・給付型奨学金の充実
- ・購入費が大きい。補助金があったら嬉しいです。

2) 手当・給付金関係

- ・出産にかかる費用を全て負担して欲しい
- ・子育て給付金の拡充
- ・子育てにかかる補助金
- ・現金給付
- ・手当を増やしてほしい
- ・子供が3人以上世帯への手厚い助成金
- ・子ども手当は全員3万にして欲しい
- ・児童扶養手当支給の年収額をもう少し上げていただきたい
- ・児童手当の増額
- ・子供手当以外で県独自の子育て支援を充実してもらいたい
- ・子供のいる家庭への現金給付をして欲しい
- ・金銭的な子育て支援の希望 祝い金増額など
- ・子育て世代に給付金や無償化をもっと進めてほしい
- ・部活動の大会費用、遠征・送迎などの手当て
- ・各種補助金や補助制度の拡充、出産・育児に係る支援金補助など
- ・子供を持つ家庭を応援する給付をお願いします
- ・子育て世代への補償、助成を手厚くして欲しい

- ・子育て世帯への手厚い支援を望む。第2子出産を控えているが金銭的な不安が大きい。
- ・季節ごとの給付金
- ・多胎児への金銭的支援
- ・自宅に家事やベビーシッターを派遣する券のプレゼント
- ・子育て世代の家賃や食費の給付金
- ・はじめて箱のような消耗品の支給
- ・学童保育への助成
- ・食費の支援。生きていくうえで最低必要になる出費だから
- ・住宅ローン利率上昇に伴う支援
- ・小学校、中学校、高校入学時には、ランドセルや学校指定のバック・制服などの購入費が大きい。補助金があったら嬉しいです

3) 環境・施設整備関係

- ・子供が遊ぶところが欲しい
- ・子供達が安全に暮らせるような事にお金を使って欲しい
- ・乳幼児期に安心して遊ばせることができる無料屋内施設が少ない。北九州の元気のもりのような施設を設けてほしい
- ・児童館を広くしてほしい
- ・子供が、安全に通学出来るように歩道の整備をしてほしい
- ・児童館のような屋内施設の増設、整備
- ・小学校の児童クラブ充実
- ・子供と一緒に遊べる室内スペースが欲しい
- ・休園日に幼稚園や保育園の遊具を開放してほしい。近くで遊び場が欲しい。自己責任で遊ぶことにしたい
- ・部活などで県の施設を利用しますが、集合時間が朝早く公共交通機関も時間があわない事がほとんどで、自家用車で送迎になりますが、圧倒的に駐車場が足らないと感じます。SDGSもいいですが、不便だし近隣の方に迷惑を掛けたくないので、実情にみあった施策をお願い致します
- ・県道の街灯を増やしてほしい
- ・高校、中学生の通学道路の夜間暗い。照明増やカメラ設置
- ・自転車用道路の整備を進めてほしい。中心街のみ青色ゾーンがあり、路肩を通らざるを得ない道路は危険が多く、通学高校生が事故に遭っても仕方がないという状況です。
- ・学校のトイレを綺麗にしてほしい
- ・佐賀市に高校生対象の学生寮を建設してほしい
- ・交通に便が悪い場所に住んでおり、仕事の後に習い事や塾の送迎ができない。図書館等、自由に自習できる場所がなく落ち着いて勉強できる場所に子どもだけで行くことができない
- ・支援センターの拡充、渋滞緩和による通勤時間短縮
- ・交通機関が少なすぎるので改善して欲しい
- ・子育てしたい県を謳っている割には、インフラの整備が追い付いていない。県庁の男性育児休暇の取得率の考え方には疑問が残る
- ・老若男女が気軽に集まれる場所の提供
- ・佐賀で高度な勉強ができる学校と働ける場所を誘致してほしい

4) 医療費関係

- ・医療費の無償化（年齢記載なし。他に1名）
- ・小学生中学生高校生の医療費助成の県補助をして欲しい
- ・子供の医療費無償化（福岡への流出を防ぐため）
- ・医療費助成
 - ・高校生までの医療費助成を佐賀市でもしてほしい。ひとり親家庭で大変だが、経済面を考え必死にフルタイムで働いている。ぎりぎり何ももらえないライン。母子扶養手当やひとり親医療費助成ほか、すべての手当や補助が一つも受けられず、忙しいだけで大変。他の所得ラインより少し下の方は、全ての受給対象となり、恩恵を受けていると話を聞く。所得ラインぎりぎり上の方が何か受けられるよう、補助してほしい
- ・医療費は高校生まで無償化にして欲しい（他に3名）
- ・医療費の助成年齢を県内統一希望（他に1名）

5) 給食費・給食関係

- ・給食費無償化（他に5名）
- ・義務教育（小学、中学）の給食費無償（他に2名）
- ・給食費の無償化の所得制限をなくす
- ・高校の給食提供（有料でも可）
- ・中学校までの給食（通学区域では小学校までになっている）を有償で良いので強く希望します

6) 支援制度関係

- ・県内で差が出ないように市町への補助を充実してほしい
- ・市町村によって異なる支援制度の県統一化
- ・市町個別ではなく、県として対応いただきたい
- ・同じ県内なのに、住んでいる市町村で補助金や制度に違いがあり、資金力がある市に人が集まりやすくなっている。県内でも佐賀南部エリアは人口減で子供の数が減っている。子供たちに部活や学業、習い事などで選択肢がない。県はスポーツを推進され、県外からの通学者に寮を作られたりしているが、そもそも県内在住の子供たちが、そのスポーツを体験、経験することすらできない。過疎が進む地域の子供のことも考えてほしい
- ・県内の支援内容が市町によって差がありすぎないようにしてほしい

7) 制度の周知等関係

- ・県内で利用できる制度を知る場面、場所を増やしてほしい
- ・補助制度の案内を強化していただきたい
- ・様々な支援制度は知らないと利用できない事と、所得制限がある制度が多く仕組みもバラバラで複雑です。マイナンバーを有効活用して自動的に支援を受けられる世の中にしたいです。税金同様に
- ・補助等、知らないで損をするような制度はやめてほしい
- ・どんな制度があるのかわかりにくい、広報、アピールを積極的にしてほしい
- ・しているサービスのアピールをもっと広くわかりやすくしてほしい
- ・子育てしやすい県というPR
- ・制度自体を知らない

8) 病児保育・病児後保育・病院関係

- ・病後児保育の定員が少ない。前日夜とかにサイトで予約できるとか、気軽に利用できたらいいと思います
- ・病児保育、病後児保育所は絶対になくさないでほしい。むしろ保育所併設にして増やし

てほしいぐらいです

- ・病児保育受入場所を増やしてほしい
- ・皮膚科など年齢問わず受診する病院の待ち時間が長い場合に、子供の面倒を見るのが大変なこと、他受診者から目が気になること、など多くの障害があると感じています。予約サイトの導入など混雑緩和に向けた支援や導入促進をしていただきたい
- ・小児慢性特定疾病の受給手続きを簡素化してほしい。休みが取れないと難しい

9) 休暇等関係

- ・フレックス勤務を進めてほしい
- ・男性の育休取得率増加と、病気などでも休みを取りやすくしてほしい
- ・育児休業に対する補助金をもっと拡充させてほしい
- ・育児時短勤務を小学生まで拡大して欲しい
- ・育休や産休を取得する人に対する支援を充実してほしい。雇用保険等にプラスで収入保障を導入してほしい
- ・未就学児の看護休暇を増やして欲しい。足りない
- ・企業規模に関係ない完全週休2日制への移行を県のサイドから推し進めてほしい

10) その他

- ・子育て支援の拡充(他5名)
- ・子育てしやすい取り組み推進
- ・育児にかかる負担は金銭面だけではないので、子どものいる家庭への支援は所得に関係なく行ってほしい
- ・子育て事業にかかる市町への補助金
- ・保険料全額控除
- ・妊活の補助をもっとしてほしい
- ・成長後も県内に留まることにつながる内容
- ・現場目線での常に親と子をセットで考えられた支援
- ・子供が複数人の場合と1人の場合の補助等の差をなくして欲しい
- ・モンスターペアレントへの対応
- ・補助
- ・県外への流出をもっと減らすよう努力をお願いします
- ・ばらまきではなく若者世帯の負荷軽減を
- ・産後8週を経過すると上の子の保育時間が短時間になってしまう。生活リズムも安定していない乳児を連れての登降園は母子ともに負担なので、標準保育のまま通えるように制度を充実させてほしい
- ・子供を増やすためには今、頑張っている両親へのサポートを手厚くしてほしいです。昔は母や祖母がいた時代で子供もたくさん大人の囲まれていました。見守る目がたくさんありました。今は両親も仕事で疲れ、うちでも子供とゆっくりできない日々です。また忙しいので、こういった声すら挙げられていないのが現状だと思います。リアルタイムで子育てしている方の声をもっと情報として取り込むシステムが必要だと思います。こんなアンケートでもいいです。時間とお金がたくさんある高齢者も大事ですが、時間もお金もない若い方ももっと大事にしてほしいです。そしてこれから佐賀県を作っていく子供たちをもっとたくさん佐賀県に増やすためには周りの大人がもっと子供にやさしい目で見守ってほしいです
- ・待機児童を減らし、子どもの診察や通院の円滑化することで親が働きやすい社会作りを

お願いしたいです

- ・保育士や小児科医の待遇の向上
- ・子育て支援もですが、それを支える保育士も厚く補助や優遇されるべきです
- ・人口減少を止めるためには兵庫県明石市くらいの子育て支援が必要だと思います
- ・公立小中高の教育の質の向上
- ・教員の待遇を改善し、教員希望者が増えるようにしてほしい
- ・市町立小中学校の未配置をなくしてほしい。学校の教員がゆとりをもって業務に取り組めるよう、教員を配置してほしい。教育委員会や外部事務所等の教員などを活用してほしい
- ・子育てにお金がかからないようになってきているが、地元に進学先がなく、高いお金を払って県外に進学している生徒も多い。県立大の開学に期待している
- ・子育てしないと損するくらいじゃないと人口減は止められないですよ
- ・結局なんでも所得が関わってくるので、該当しないことが不満。物価も高くなっていることは誰もが感じている！シングルや非課税世帯だけとか不満しかない。みんなが平等になる対策を求めます
- ・子供を育てながら働く世帯への攻撃が減少するような啓発活動
- ・収入の差なのか親の考え方の差なのか、子供達の所有物での格差でのイジメに繋がっているように感じます
- ・移住支援金の対象の会社を増やしてほしいです(他1名)

2. 市町への要望(自由意見)

1) 医療費

- ・医療費(他2名)
- ・鳥栖市の子ども医療費の無償化を進めてください
- ・高校生まで医療費を無料にして欲しい(他8名)
- ・医療費助成の継続
- ・医療費助成金高校まで
- ・高校生までの医療費助成を佐賀市でもしてほしい。ひとり親家庭で大変だが、経済面を考え必死にフルタイムで働いている。ぎりぎり何ももらえないライン。母子扶養手当やひとり親医療費助成ほか、すべての手当や補助が一つも受けられず、忙しいだけで大変。他の所得ラインより少し下の方は、全ての受給対象となり、恩恵を受けていると話を聞く。所得ラインぎりぎり上の方が何か受けられるよう、補助してほしい
- ・佐賀市の医療費助成制度の対象を18歳までにしてほしい

2) 手当・給付金関係

- ・子育て給付金の拡充
- ・金銭的な補助が一番助かる
- ・子育て世代に給付金や無償化をもっと進めてほしい
- ・入学、卒業時の支援金
- ・補助や給付金がでない
- ・住民税の減税。高すぎる
- ・部活動の大会費用、遠征・送迎などの手当
- ・出産にかかる費用を全て負担して欲しい。子供のいる家庭への現金給付をして欲しい
- ・子育て世帯への給付金など、金銭的な支援をしてほしい

- ・子供を持つ家庭への補助、給付をお願いします
- ・季節ごとの給付金及び飲食店割引
- ・ひとり親への給付金
- ・住宅ローン利率上昇に伴う支援
- ・子育て世代の家賃や食費の給付金
- ・聴覚障害があり、人工内耳を使っています。有田町では現在 2 年に 1 度人工内耳の充電電池購入について補助していただけるようになり助かっています。県内でも毎年補助がある市町があるので、有田町も毎年補助していただけると更に助かります。毎日充電しながら使うものなので消耗が早いので検討の程よろしくお願い致します。
- ・固定資産税が高すぎるので減税をしてください
- ・出産祝い金の増額があると助かる
- ・お祝い金など検討してほしい、児童クラブを6年生まで受け入れ可能にしてほしい

3) 保育料・授業料等関係

- ・保育園の年齢を問わず無償化
- ・3歳未満の保育料も無償化してほしい
- ・第1子からの保育料無償化
- ・園の無償化
- ・保育料が高過ぎて厳しい(他1名)
- ・保育料補助(他1名)
- ・3人目からは所得制限なく保育料の補助をしてほしい
- ・3号認定への保育料助成
- ・預かり保育をもう少し安くしてほしい
- ・学費無料
- ・義務教育(小学、中学)の無償化
- ・中学校の授業料無償化
- ・学生服無償化
- ・中学校の制服、統一してほしい。お下がりしやすいように
- ・通学費補助金(他1名)
- ・通学補助金の助成を増やして、昭和タクシーの学生定期券料金を下げる
- ・中学校の制服購入の補助
- ・中学生指定の制服、靴下、自転車ヘルメットなどいらない。指定は高すぎる！
- ・高校、大学など就学にかかる費用免除
- ・小学校、中学校、高校入学時には、ランドセルや学校指定のバック・制服などの購入費が大きい。補助金があったら嬉しいです
- ・大学学費補助

4) 給食費・給食関係

- ・給食費の無償化(他に18名)
- ・中学校は給食にしてほしい
- ・中学校までの給食(通学区域では小学校までになっている)を有償で良いので強く希望します
- ・すべての子供たちが平等に食事できる環境を整備してほしい。(学校や幼稚園、保育園等の給食を平等に充実させる)
- ・長期休暇時の学童への給食やお弁当支給を有料でも行ってほしい

- ・オーガニック給食

5) 環境・施設整備関係

- ・公園以外に子どもの遊べる場所を！
- ・子供達が遊べる場を作してほしい
- ・子供と一緒に遊べる室内スペースが欲しい
- ・子供達の遊ぶ場所などを増やしてほしい
- ・屋内で遊べる施設を拡充してください
- ・児童館を広くしてほしい
- ・ネットが使える勉強できるスペースを増やしてほしい
- ・待機児童の解消、図書館へ児童図書の充実
- ・児童クラブの待機児童をなくしてほしい
- ・子どもが雨の日でも遊べる施設を作してほしい。伊万里市は屋外で遊べる場所が整備されています。ですが、6月から8月にかけて雨や猛暑など外で遊べない日が続くことがあります。そんな日でも遊べる場所が欲しいです
- ・学校のトイレを綺麗にしてほしい
- ・共働き世帯で夕方子供が一人になってしまう。6年生まで受け入れてもらいたい
- ・神野小学校では学童(放課後児童クラブ)が3年生まで点を改善して欲しい
- ・高校、中学生の通学道路の夜間暗い。照明増やカメラ設置
- ・市道の街灯を増やしてほしい
- ・通学路の街頭追加設置を要望する。夜間暗い場所が多く、バス停からのお迎えや自家用車での送迎をしている
- ・子供が、安全に通学出来るように歩道の整備をしてほしい
- ・安全な通学路(歩道 横断歩道)の確保
- ・児童クラブは留守家庭では欠かせないサービスのため、保育園と同じレベルで開所して欲しい。学校休校の際に連動して休所となるのはとても不便
- ・小学校が休みになっても、児童クラブを運営して欲しい
- ・小学校中学校ともにスクールバスにすべき。差がありすぎる
- ・支援センターの拡充、渋滞緩和による通勤時間短縮
- ・交通に便が悪い場所に住んでおり、仕事の後に習い事や塾の送迎ができない
- ・学童保育の長期保育でお弁当を注文できるようにして欲しい
- ・安心して住める地域であってほしい。最近、近所に外国人が集団で住むようになり、子どもが怖がって外出しなくなった。具体的に何かされた訳ではないが、乱暴な運転なども多く、体感治安が悪化していると感じる。特に生活道路の無謀運転が増え、できる対策があればお願いしたい
- ・市営の保育園のクラブを充実させる、プールなど
- ・小学生の放課後の居場所づくり
- ・スイミングスクールを神崎市にほしい

5) 支援制度関係

- ・オムツ定期便がほしい
- ・ひとり親の支援拡充
- ・育児にかかる負担は金銭面だけではないので、子どものいる家庭への支援は所得に関係なく行ってほしい

6) 制度の周知等関係

- ・様々な支援制度は知らないと利用できない事と、所得制限がある制度が多く仕組みもバラバラで複雑です。マイナンバーを有効活用して自動的に支援を受けられる世の中にして頂きたいです。税金同様に
- ・補助等、知らないと損をするような制度はやめてほしい
- ・制度自体を知らない
- ・どんな制度があるのかわかりにくい、広報、アピールを積極的にしてほしい
- ・しているサービスのアピールをもっと広くわかりやすくしてほしい
- ・補助制度の案内を強化していただきたい
- ・子育て支援にかかる事項をもっとわかりやすくしてほしい

7) 病児保育・病児後保育・病院等関係

- ・小児科が1箇所しかなく、予約をしないと待ち時間が長い
- ・休日子供診療所を各市町に作ってほしい
- ・子ども医療の拡充
- ・県外の医療機関を利用した時、子どもの医療費受給資格者証が使えるようにしてほしい。現在、3割負担を実費でして市役所に申請してから戻るシステム。2ヶ月後。マイナンバーがあるのでそれを活用してほしい
- ・皮膚科など年齢問わず受診する病院の待ち時間が長い場合に、子供の面倒を見るのが大変なこと、他受診者から目が気になること、など多くの障害があると感じています。予約サイトの導入など混雑緩和に向けた支援や導入促進をしていただきたい
- ・病児保育、病後児保育所は絶対になくさないでほしい。むしろ保育所併設にして増やしてほしいぐらいです
- ・病児病後児保育の受け入れ先をもっと増やしてほしい

8) 休暇等関係

- ・未就学児の看護休暇増やしてほしい、足りない
- ・フレックス勤務をすすめてほしい
- ・育児時短勤務を小学生まで拡大してほしい

9) その他

- ・子育て世代の働きやすい環境づくりをして欲しい
- ・子育て関係の補助
- ・子育て支援の拡充(他に4名)
- ・子育て世代への援助を厚く(子ども数に応じて)
- ・ひとり親世帯のみならず、多子世帯への手厚い支援を望む
- ・子育て世帯への手厚い支援を望む。第2子出産を控えているが金銭的な不安が大きい
- ・支援競争になりすぎず、もっと本質的なところを考えてほしい
- ・子供が部活や習い事で選択肢がなさすぎる。少子化対策や子育て支援が充実していると感じない。支援が充実している市町村に移住する人も多く、子供が減少していく一方。空き家はたくさんあるのに、移住してくるのはセカンドライフを送るお年寄りばかり。子育て家庭が家族で移住できるような、空き家の活用や、移住支援などもしてほしい。今の制度では不十分だと感じる。また企業誘致用の土地も、市で整備していかないと誘致出来ないのでは。他にも中学校の統合を検討してもらいたい。子育て世帯を増やして、経済活性化してもらいたい
- ・小学校入学時、児童クラブに通わせる場合、入学式までは、行き帰りともに保護者送迎でないとダメな点を、朝だけでも送迎なしにしてほしかった

- ・休みが取りやすいよう、職場の人員増加
- ・高齢者向けの敬老行事補助とかではなく、これから支えてくれる人材であることもに手厚くしてほしい
- ・費用対効果を重視、若手の議員が少ないため要望と施行のギャップがあるかもしれない
- ・子育てしないと損するくらいじゃないと人口減は止められないですよ
- ・結局なんでも所得が関わってくるので、該当しないことが不満。物価も高くなっていることは誰もが感じている！シングルや非課税世帯だけとか不満しかない。みんなが平等になるような対策を求めます
- ・先のない老人に金かけないで、子ども達やその家庭にお金を掛けてほしい
- ・食費の支援。生きていくうえで最低必要になる出費だから
- ・子供を育てながら働く世帯への攻撃が減少するような啓発活動
- ・母子手帳を渡す時に保育園の入園に付いて詳しく教えてほしかった
- ・他の市町村にあるような補助を取り入れてほしい
- ・妊活の補助をもっとしてほしい
- ・産後ケアの充実をお願いします
- ・現場目線での常に親と子をセットで考えられた支援
- ・子育てしやすい、相談しやすい取り組み
- ・産後8週を経過すると上の子の保育時間が短時間になってしまう。生活リズムも安定していない乳児を連れての登降園は母子ともに負担なので、標準保育のまま通えるように制度を充実させてほしい
- ・他の市町の支援内容を常に把握して検討してほしい
- ・その地区にて子育てしたくなるような支援をお願いします
- ・市内の保育園の入園に係る厚遇（入園枠の拡充）
- ・子供たちへの常識の教育
- ・ばらまきではなく若者世帯の負荷軽減を
- ・仕事をフルタイムでしている両親は毎日本当に疲れています。私は毎日の夕ご飯作りが本当に大変だと感じています。大人は半でもいいですが、子供には野菜をたくさん使った料理を与えたいので、毎日頑張っています。家事を頑張ると子供と過ごす時間が減ってしまいます。野菜がたくさん入った惣菜を気軽に購入できる場所があるといいなと思います
- ・子育てサポーターを使いやすくしてほしい
- ・子育て支援もですが、それを支える保育士も厚く補助や優遇されるべきです
- ・人口減少を止めるためには兵庫県明石市くらいの子育て支援が必要だと思います
- ・子育てなどに協力的な企業に対して何かポイントを付与するなど、企業にとっても良い制度を作って欲しい
- ・保険料全額控除
- ・佐賀市は本当に子育て世帯には何のメリットがない。いつも非課税世帯のみしか対象になっていない
- ・吉野ヶ里町は正直子育て支援は全くないと思う。もっと増やさないと子育て世帯がいなくなってしまう
- ・移住支援金の対象の会社を増やしてほしいです（他1名）

3. 企業等への要望(自由意見)

1) 育休、働き方等関係

- ・育児休業、育児短縮の取りやすい職場づくり
- ・男性も当然の休みとして育休を取れるようにしてほしい
- ・産後パパ育休の更なる推進と周りの理解推進
- ・父親の育児参加の促進、子育て家庭の仕事への配慮促進
- ・男性も子育て中は定時に帰してほしい
- ・子育て世代の働きやすい環境を整えて欲しい
- ・半日休暇や時間で有休が取れる様にしてほしい。子供の病気で早退したり遅刻すると減給されてつらい
- ・時間単位での有給休暇が取れるようにしてほしい
- ・有給休暇の増
- ・定時退社が基本となる労働環境 フレックスタイム制の導入
- ・育児短時間勤務を小学6年生まで可能にほしいです
- ・育児休暇等の制度はあるが利用できる環境ではない
- ・フレキシブルタイム制度の導入
- ・子の看護休暇の適応年齢をあげてほしい
- ・転勤への配慮をいただき、地域での生活基盤確立への意欲を高めてほしい
- ・子育て世代でも十分に働ける環境を整備してほしい。テレワークの充実、育休・産休時の手当、業務サポート体制の整備、周りの同僚等への手当など
- ・子育て世帯のリモート勤務を増やす
- ・小学生までは看病休暇が欲しいです
- ・子育てと仕事の両立ができる働き方の制度化を広げてほしい
- ・子連れ勤務やテレワークをさせてほしい
- ・時短勤務の推奨、時間休の取得制限撤廃、在宅勤務による通勤時間短縮
- ・子どもが小学生になっても時短勤務をしたい
- ・こどもが病児のときは、休みを申請できる職場環境を整えてほしい。人員確保や、こどもがいない職員への処遇改善など
- ・出張など自宅を離れる業務をさせない、など明文化していただきたい
- ・子育てしている人に限らず介護をしている人など全ての従業員が家庭と仕事の両立をできる雰囲気づくり
- ・子育てしながら働ける環境作り
- ・面談や発表会などの平日行事は特別休暇としてほしい
- ・特定の人だけがテレワークなど不公平。誰もが働きやすい職場にしてほしい
- ・親が子を視る(一緒に居る)時間が短いからか、常識の通用しない子供が多発している。将来を担う子供たちをより良く育てるために、企業も協力が必要と思う
- ・子育て中は突然の休みなどが多く、夫婦間での休みのやりくりが難しい時が多々あるため、リモートワークの導入など、フレキシブルに働ける環境を作してほしい
- ・昔と違い妊娠しても、退社ではなく復帰を望む人が増えていると聞くので、産休中の職員をどうするかどの企業も苦慮されていると思うが、ぜひ頑張してほしい
- ・休暇や金銭的な補助等、企業からも子育て世帯への支援を強く要望したい
- ・減ってきているかもしれないけど、固定残業代、手当なしの早出など、グレーな働き方をやめさせてほしい。空気を読んで早出したり、残ったりしている。管理者も長時間労働

になってしまい、家族やプライベートが犠牲になる。誰も幸せにならない

- ・小学生までの子どもを持つ保護者は、子どもの病気や怪我など急な休みが必要になります。その時に休みやすい環境作りを推進して欲しいです
- ・土日祝日の子どもが、休みの時の休み
- ・企業側から育児休業とって下さいという声掛けなどのルールづくり。自分発信だと言いつらいところがある
- ・子育て世代への職務負担軽減や残業少なくて済む配慮を、他の職員の方への負担が増えない形でもっとして欲しい

2) 賃金・手当等関係

- ・賃金を上昇し、格差を是正してほしい
- ・賃金アップ(他に6名)
- ・賃金アップと休日増
- ・世帯手当の増額
- ・住宅手当、子供手当の増額
- ・家族手当
- ・子供がいる人への特別手当
- ・子が多い世帯への補助を強化してほしい
- ・子供手当を第2子以降も第1子並に上げてほしい
- ・子育て世代に手当を付けてほしい
- ・小学校入学祝い金に留まらず中学、高校入学へ拡大
- ・子育て世帯への手厚い手当金
- ・子育て支援金を配布してほしい
- ・大企業では、出産祝金が100万以上ある会社もあります。その他企業も祝い金の充実を希望します
- ・育児に係る手当の拡充
- ・看護休暇を有給にしてほしい(他1名)
- ・産休育休中の経済的支援
- ・子どもが病気等で保育園を休み看病が必要となったときの休暇の取得や多少の手当があると助かります
- ・家賃補助の増額
- ・住宅手当がないので家賃の負担が大きいです(他1名)
- ・学校イベントへ参加する際の有給休暇を別枠として支給してほしい
- ・新卒の給与を引き上げるだけでなく、現役社員の給与引き上げをお願いします
- ・扶養の金額の上昇はできないのか
- ・休暇や金銭的な補助等、企業からも子育て世帯への支援を強く要望したい
- ・育児しながら、固定された時間での出勤がきつい。フレックスタイム制度の推進や、時間単位で有給がとれるようにしてほしい。今は半日単位なので、通院や体調不良の連絡があると、遅刻や早退している。ボーナスの査定に関わってくるので、もったいないが有給を使う場合もある。子供の看護休暇などの特別休暇もあるが、給料が引かれるため使いたくない。制度を見直ししてほしい
- ・賃金の助成はあるが、持ち家の助成もして欲しい
- ・子育て世帯に金銭的な補助や手当をもっと設けたら、企業として魅力がでると思います

3) 託児所・保育所等関係

- ・子育てしながら働ける職場環境の整備を望みます
- ・託児所があれば小さなお子さんをお持ちの方は働きやすいかも
- ・託児所の設立
- ・企業内に保育所をつくってほしい
- ・どこの企業にも保育施設をつくってほしい
- ・病後児保育施設を会社の近くに
- ・病児保育
- ・保育所の設置
- ・土日など使われていない駐車場を子供の遊ぶ広場として提供してほしいです。子供たちは、今、遊ぶところが本当に少ないです。昔は好きなところで自由に遊んでいました。今は大人が禁止するばかりで子供たちは遊ぶとことがなく、静かに過ごすにはうちでゲームするしかありません
- ・職員駐車場が欲しい
- ・朝こどもの対応でバタバタして時間がない。時間を有効に使うために職場近くに職員駐車場が欲しい

4) その他

- ・福利厚生の説明を定期的にしてほしい
- ・佐賀市内は他の市町村より子育てに関する補助が手厚くないので、大町町を見習って欲しい
- ・社会全体で子育て世帯を支援していく機運を高めていってほしい
- ・人口減少している中で、子供を増やしていこうという気持ちが感じられない。佐賀県で子育てをしたいと思わせるようなことをしない限り、佐賀県は無くなると思う
- ・死亡よりも出生が増える様にして下さい
- ・子供のいない人は給料を上げて、増税する
- ・子育て支援企業の促進
- ・どこの企業なのかわからない
- ・自治労佐賀県本部よりアンケート協力依頼とのことですが、このアンケートは女性部・青年部が対象でしょうか？なぜこのようなアンケートを「女性部」として回答しなければならないのか分かりません。男性は？